

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 鈴木正男  
 幹事 釜谷健一  
 会報委員長 松島孝彰

## 真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

Act with Integrity Serve with Love Work for Peace

1995~96年度 RI会長 ハーバート・G・ブラウン

No. 40

### きょうの例会

第664回 平成8年5月14日(火)

地区協議会報告

### 先週の記録

第663回 平成8年5月7日(火) 曇

- ◇ "君が代"
- ◇ "我等の生業"
- ◇ 今月のお誕生日祝福  
秋山君(2)、菅原君(4)、小山君(15)、  
太田君(15)、石田君(27)
- ◇ 出席報告  
会員 68(67)名 出席 49名  
出席率 73.13%  
前々回 4月16日(修正出席率) 98.53%
- ◇ ビジター紹介 4名
- ◇ ニコボックス  
紙面の都合により次回掲載させていただきます。

### ◇ 中山副幹事報告

1. 地区協議会(5/12)に出席義務の方は小牧市民会館登録9:30となっておりますので、お間違いのないようご出席下さい。  
尚、当日は国道41号線高架道基礎工事と明治村への行楽と重なりますので、余裕を持っておでかけ下さい。
2. ロータリーの友5月号が来て居りますので、お帰りにお持ち下さい。

### ◇ 鈴木(正)会長挨拶

大型連休も昨日で終り、今日は2週間振りの例会であります。この連休を皆様は、如何お過ごしでございましたでしょうか。私は、専ら家庭でブラブラと自由時間を楽しんで過しました。この間に思ったことの一つ...

大正・昭和・平成と生きてきた私達世代の

若かった頃と比べて、随分と休日が多くなりました。それでも、皆が平和に暮らしてゆける今の世の中、現代に生きる私達日本人は、世界の中でも、本当に幸せな国民だなあと、これは実感です。さて、このたびの大型連休には、国民の祝日が3日、振替休日、国民の休日が各1日有りました。

国民の祝日とは、今更お話しする迄も無くご存知の方も多いと思いますが、これは、昭和23年に「国民の祝日に関する法律」によって制定されたものです。この法律は、以後休日を増やす度に改正されてきましたが、その第1条「意義」の条文は次のとおりです。「自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づける」。そして、第2条「内容」に於て「国民の祝日」を次のように定める」として、全部で14日の休日の名称と月日を限定列挙し、夫々にその内容が説明されています。例えば、

憲法記念日 五月三日 日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。

こどもの日 五月五日 こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。

以上のような条文となっています。続いて、第3条で「国民の祝日」は、休日とする」と定めると共に、振替休日・国民の休日を併せて定めています。このように本法律は、3ヶ条から成り立っています。

国家的な記念日は、色々として設けられていますが、「国民の休日」とされているのは、2月11日建国記念の日と5月3日憲法記念日の2つだけで、此等以外の国家的記念日で、法律上に明記をされたものは無く、勿論休日でもあ

りません。例一終戦記念日等

最後に、RIにも記念日が公式に1日だけ設けられていることを知っておきたいと思います。

1905年2月23日であります。この日、ポール・ハリスが、友人3人と語らって、第1回の会合を開きました。ロータリークラブの誕生の日であります。1983年RI理事会は、この日を「世界理解と平和の日」と定めて次の決議を行っています。

「2月23日は、最初のロータリー・クラブ会合が開かれた記念日であり、世界理解と平和の日として遵守されている。各クラブは、この日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならない」このため、RIでは毎年2月を「世界理解月間」と定めたものと思われま。

#### ◇講演

“地球環境問題への参加の仕方”

(株)PES建築環境設計 代表取締役社長

石黒 隆敏氏

(紹介 石黒君)



1960年代に「環境」という語が一般日常に使われるようになったが、この時代ではこの言葉は主として汚染、天然資源の減少、人口過剰、生態系の危機となる、いくつかの事故例を意味した。

味した。

アメリカで1800年代末にはじまった草の根グループによる資源保護、生態系保護の民間活動は、1970年4月の第1回地球の日(アースデー)を機に政府機関の一体となって行動が行われるようになった。そして1971年には、アメリカにEPA(環境保護局)、日本に環境庁が出来た。

1990年より前は、自分の身の回りの環境を、人間が望むように人間を中心として健康に良い状態や、生態系に良い状態を作り、それを作り出す資源を確保することが、環境に対する考え方であった。

1990年以降は、人間が行ったこれまでの人工的な自然環境の変形により、地球という生命の存続が、非常に危機になったことに対する問題として意識されている。

あらゆる問題は、人口の増大と、それを支え続けなければならないことから起因している。1800年に10億程度だった人口が、今や58億から60億、そして2000年の中頃には100億に達するという。このような変化の中で、今我々が緊急に考え、そして解決しなければならない地球の近い将来に対する4つの大きな問題は

①地球温暖化に伴う地球気候変化

②成層圏のオゾン層の枯渇

③動植物生息地の破壊と変更(熱帯雨林と湿原の減少)

④種族の絶滅

といわれている。

地球温暖化解決の主役は炭酸ガスの減少であり、開発国では自動車をはじめとする輸送の効率化、生産での技術改善であり、そして現在20億の人達が木材を燃料としている開発途上国での代替案が考えられなければならない。

温暖化の2番目の主役であるフロンガスは、同時にオゾンを食べつくす悪役であるので、生物の生存を紫外線から保護しているオゾン層を残すためには、クーラーの冷媒ガスや、溶剤、消化剤、発泡スチロールの禁止に至っている。

1万年前に62億ヘクタールといわれた森は、今15億ヘクタールに減少しており、2、3世紀前にはアメリカの面積の5倍あった赤道のグリーンベルトは今や40%にすぎない。森林の開拓は必要耕地の拡大や、燃料としての消費の必然性の他に、工業製品化での影響を考えあわせて慎重でなければならない。

その熱帯雨林の中に存在する数知れない生物の種のどれかが次の世代に生き残るといわれる中で、種族を絶滅させることは生物の進化の可能性を次々に奪っていつている。

この4つの問題を解決するために民間企業は毎年環境レポートを発行して、企業の環境保護への姿勢を明らかに、又環境団体はそれぞれのテーマ毎の活動を通じて、多くの人達に実情を知らせている。

#### ◇例会変更のお知らせ

あまRC	5/20(月)夜間例会の為、名鉄グランドホテルにて18時より
名古屋守山RC	5/23(木)職場例会の為、龍泉寺にて12時より
名古屋東南RC	5/23(木)夜間例会の為、鳴海カントリー倶楽部にて17時半より
あまRC	5/27(月)ホテルの都合の為、名鉄ニューグランドホテルにて12時半より
豊山-城北RC	5/28(火)夜間例会の為、栄東急インにて18時半より

#### ◇お知らせ

会員 菅原 宣彦君が5/4付でシニア会員になりました。

#### ◇次回例会(5月21日)

職場例会

(サンベルグラビアにて11時45分より)